

# 各都道府県におけるリウマチ施策について

(平成17年1月12日調査依頼)

(資料8)

自治体	事業	普及啓発	相談窓口	連携	計画	施策例
<b>都道府県</b>						
北海道	×	×	×	×	×	悪性関節リウマチは難病対策業務として実施
青森県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
岩手県	×	×	○	×	×	悪性関節リウマチは難病対策業務として実施
宮城県	×	×	○	×	×	7保健福祉事務所で相談対応
秋田県	×	×	×	×	×	相談があった場合は適宜対応
山形県	×	×	○	×	×	悪性関節リウマチは難病対策業務として実施
福島県	×	×	○	×	×	全保健所で日常生活等について電話相談
茨城県	×	×	○	×	×	リウマチ友の会による医療相談会の実施
栃木県	×	×	○	×	×	
群馬県	×	×	×	×	×	
埼玉県	×	×	○	×	×	患者団体の育成
千葉県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
東京都	×	×	○	×	×	
神奈川県	×	×	○	×	×	保健所で患者・家族の集いを実施
新潟県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
富山県	×	×	○	×	×	
石川県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
福井県	×	×	○	×	×	
山梨県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
長野県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
岐阜県	×	×	○	×	×	現在作成中の地域保健医療計画案に盛り込む予定
静岡県	×	×	○	×	×	
愛知県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
三重県	×	×	○	×	×	
滋賀県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
京都府	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
大阪府	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
兵庫県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
奈良県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
和歌山県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
鳥取県	×	×	○	×	×	
島根県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
岡山県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
広島県	×	×	○	×	×	リウマチに関する知識の普及啓発事業(団体委託)を実施
山口県	×	×	○	×	×	難病対策の一部としてリウマチ対策を実施
徳島県	×	×	○	×	×	
香川県	×	×	○	×	×	
愛媛県	×	×	○	×	×	リウマチ友の会高知県支部と連携
高知県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
福岡県	×	×	○	×	×	
佐賀県	×	×	○	×	×	
長崎県	×	×	○	×	×	
熊本県	×	×	○	×	×	
大分県	×	×	○	×	×	大分県難病患者団体連絡協議会に電話・訪問相談委託(各々年50件)
鹿児島県	×	×	○	×	×	相談があった場合は適宜対応
沖縄県	×	×	○	×	×	来所・電話・訪問相談の実施 H.Pを準備中
有	12	11	29	7	0	(備考) 事業-各自治体におけるリウマチ対策の事業の有無を調査したもの
無	34	35	17	39	46	連携-リウマチ対策を推進していく上で、市町村等関係団体との連携の有無を調査したもの
無回答	1	1	1	1	1	計画-リウマチ対策について、各自治体の地域保健医療計画上定めているかの有無を調査したもの

# 各都道府県におけるアレルギー施策について

(平成17年1月12日調査依頼)

自治体	事業	普及啓発	相談窓口	連携	計画	施策例
北海道						
北海						
道						
青森	X	O	O	X	X	道民向けアトピー性皮膚炎Q&AをHPに掲載
岩手	X	O	O	X	X	一般向けパンフレットの作成
宮城	X	O	O	X	X	7保健福祉事務所で相談対応
秋田	X	O	O	X	X	今年度花粉症相談窓口設置予定
山形	O	O	O	O	X	管内母子担当会議でアレルギー研修の伝達実施。花粉飛散予測等について、県及び衛生研究所のHPに掲載
福島	O	O	O	O	X	県教育庁との連携。二般相談の中で花粉症や小児アトピー性皮膚炎について対応
茨城	O	O	O	X	X	健康づくり研修会(子どものアレルギー疾患と食事について等)を県健康科学センターに委託
栃木	X	O	O	X	X	教育委員会にて養護教諭を対象としたアレルギー研修会の実施
群馬	X	O	O	X	X	
埼玉	X	O	O	O	O	県民対象に1)生活環境とアレルギー2)かび3)結露の3種類のパンフレットの作成・配布
東京	X	O	O	O	O	健康増進課内にアレルギー相談センター設置
神奈川	X	O	O	X	X	喘息・食物アレルギー・花粉症・アトピー性皮膚炎についてパンフレット作成
新潟	X	O	O	X	X	花粉症及びアレルギーについて庁内会議を開催
富山	O	O	O	O	X	花粉飛散予測等について保健所及び保健環境科学研究所HPに掲載
石川	X	O	O	X	X	乳幼児対象に普及啓発(パンフレット・HP・相談会)
福井	O	O	O	O	X	
山梨	O	O	O	O	X	特別調査研究事業16年度テーマ「福井県におけるアレルギー疾患の実態調査とアレルギー疾患に影響する環境因子に関する研究」
長野	O	O	O	X	X	市町村、医師会、薬剤師会及び看護協会との連携
岐阜	O	O	O	X	X	花粉飛散情報をHPに掲載。花粉症相談窓口設置
愛知	O	O	O	X	X	保健所母子保健運営協議会で検討
三重	O	O	O	X	X	アレルギーのための食事支援マニュアルを作成し施設栄養士に配布
滋賀	X	O	O	X	X	
京都	X	O	O	X	X	アトピー性皮膚炎とシックハウス症候群の相談が多い
大阪	O	O	O	X	X	花粉症予防研修会を小学校養護教員及び保健師対象に実施
奈良	O	O	O	X	X	2ヶ月毎に医師会で連絡会議を開催し医療機関調査や指導者用パンフレット等について検討
和歌山	O	O	O	X	X	花粉症総合情報をHPに掲載
鳥取	O	O	O	X	X	医師研修会を年2回開催しGLを配布
徳島	O	O	O	X	X	
香川	O	O	O	X	X	保健師が健診時に活用できる「親子の健康づくり支援マニュアル」を作成
愛媛	O	O	O	X	X	アレルギー性疾患対策専門委員会設置(市町村、医師会等も参加)
高松	X	O	O	X	X	喘息・アトピー性皮膚炎親子交流会の開催
岡山	X	O	O	X	X	月1回保健所で相談窓口開設
広島	O	O	O	X	O	飲食店におけるアレルギー食品の表示推進(健康生活応援店推進事業)
山口	O	O	O	X	X	医師等を中心とする任意団体が行うイベントを保健所が協力開催
徳島	X	O	O	X	X	花粉飛散情報をHPに掲載
高松	X	O	O	X	X	
愛媛	X	O	O	X	X	花粉症相談窓口設置予定
高松	O	O	O	X	X	花粉飛散情報をHPに掲載し、電話相談(薬務課・保健所)
香川	O	O	O	X	X	医師会の花粉情報システム事業を補助
高松	X	X	X	X	X	
愛媛	X	X	X	X	X	食物アレルギー講演会の実施
高松	X	X	X	X	X	県のテレビ番組で5分間程花粉症等について広報
香川	X	X	X	X	X	HPを開設
高松	X	X	X	X	X	
有	28	32	35	16	5	(備考) 事業-各自治体におけるアレルギー対策の事業の有無を調査したもの
無	18	14	11	30	41	連携-アレルギー対策を推進していく上で、市町村等関係団体との連携の有無を調査したもの
無回答	1	1	1	1	1	計画-アレルギー対策について、各自治体の地域保健医療計画に上定めているかの有無を調査したもの

## (資料 9)

### 今春の厚生労働省花粉症緊急対策について

平成17年3月7日  
厚生労働省健康局

#### 1 花粉症の相談体制の整備

- ・都道府県等に対して相談体制の整備を要請（平成17年1月19日）
- ・「花粉症相談マニュアル（Q&A）」の作成・配布（平成17年1月28日）
- ・全国担当課長会議において相談体制の整備について再度要請（平成17年2月4日）

#### 2 花粉症に関する正しい情報の提供

- ・厚生労働省ホームページに「花粉症特集」を掲載（平成16年12月17日）
- ・厚生労働省主催「花粉症シンポジウム」開催（平成17年1月28日）
- ・啓発ポスターのひな形の作成・配布（平成17年1月28日）
- ・花粉症一般向けパンフレット『的確な花粉症の治療のために』を作成・配布（平成17年2月8日）

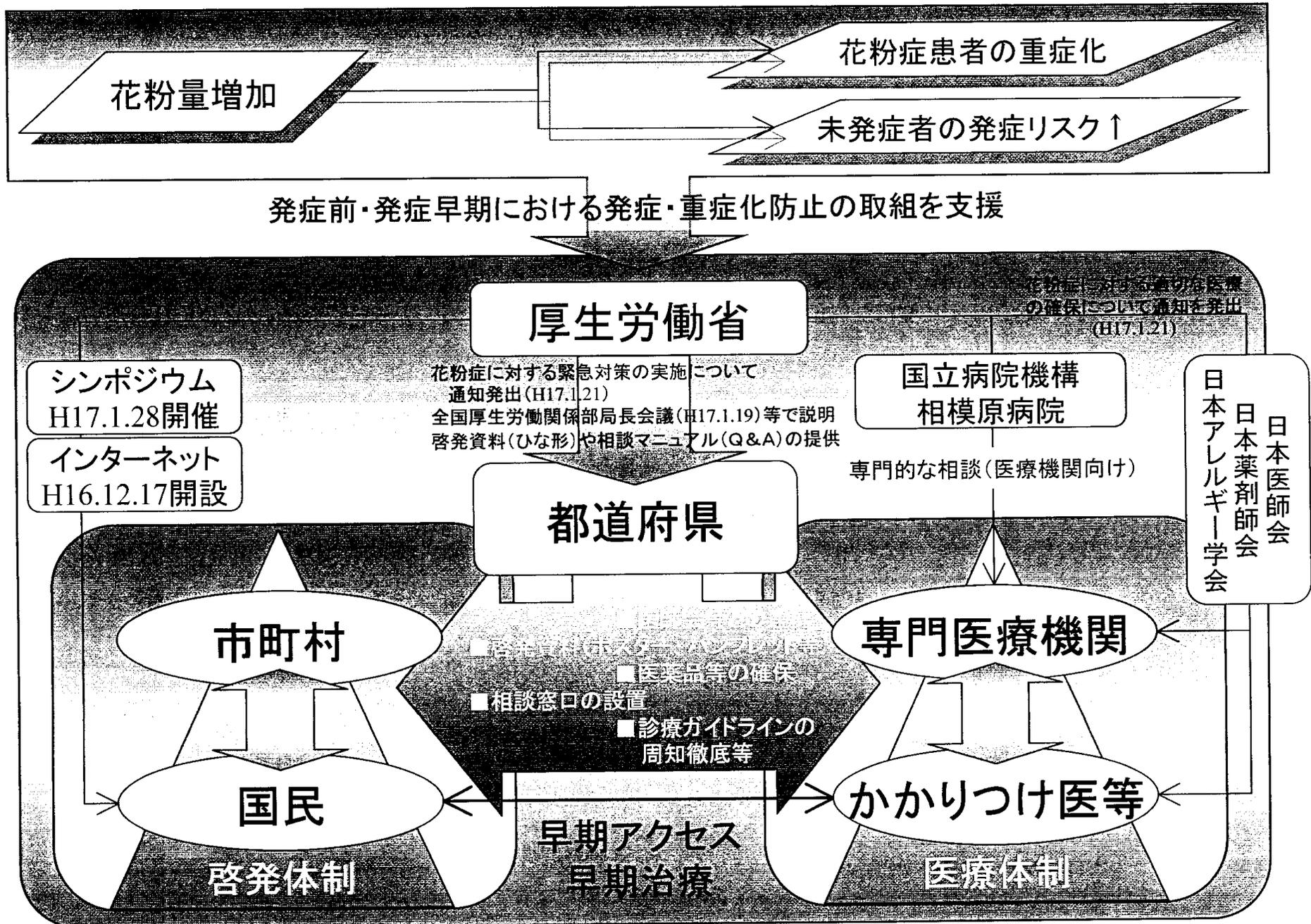
#### 3 花粉症に対する適切な医療の確保

- ・都道府県等に対して花粉症患者に対する適切な医療の確保について要請（平成17年1月19日）
- ・日本医師会、日本薬剤師会及び日本アレルギー学会に対して協力要請（平成17年1月21日）
- ・国立病院機構相模原病院の協力で、「リウマチ・アレルギー情報センター」ホームページ内（<http://www.allergy.go.jp>）に医療機関向け専門相談窓口を開設（平成17年1月25日）
- ・「医療従事者等向けQ&A」の作成・配布（平成17年1月28日）
- ・全国担当課長会議において花粉症患者に対する適切な医療の確保について再度要請（平成17年2月4日）

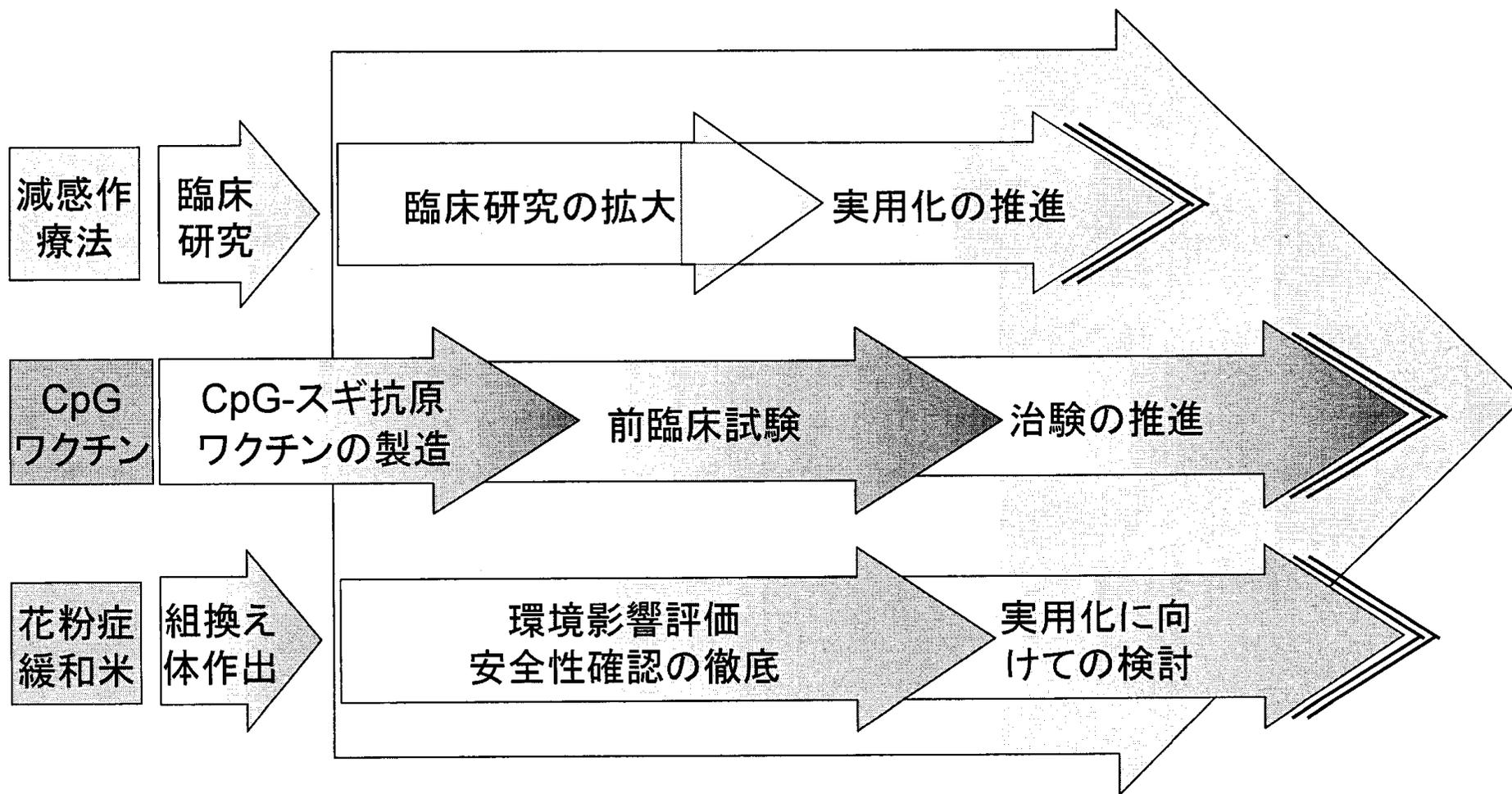
#### 4 花粉症の研究の推進

- ・平成4年度からアレルギー疾患について研究事業を開始（免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業）
- ・独立行政法人国立病院機構相模原病院臨床研究センターと理化学研究所横浜研究所免疫・アレルギー科学総合研究センター間で共同研究を開始（平成16年度）  
当初は期間5年でスギ花粉症に対する根治的な治療法（ワクチン等）の開発

# 平成17年花粉症緊急対策支援体制について



# 花粉症対策研究のロードマップ



2004年

2005年

2006年

2007年

2008年

2009年

(2月23日総合科学技術会議資料)